

令和 6 年度施政方針



施政方針

Q 今回のテーマ「みんなでまちの価値を高める」という言葉にどのような思いが込められているのか。

A 令和6年度は町の風景が変わる。中学生の制服が変わり、青山地区では造成工事が始まる。町の価値を行政だけでなく、町民の皆さんと一緒に高めたい、という想いを込めた。

Q 中学生の派遣事業は否定しないが、何故「今」再計上したのか。

A 元々、海外派遣をする前提でグラント郡と姉妹提携締結をしており、グラント郡との約束になる。コロナ禍で実施できなかったが、今回唐突ということではない。

Q 町立保育園の3歳～5歳児の給食費を無償化する予算を計上されたが、小中学校の給食費は値上げとなっている。国際交流や中学生の派遣にかかる費用で、給食費値上げ分を負担できる。子育て世帯への経済的負担軽減を優先するべきだと思えるが、どうか。

A 給食費の値上げを抑制するために、海外派遣を見直す、ということは少し論点が違うが、両方とも大事なことである。

給食費の無償化についても、実は色々悩んだが、全国一律で取り組むべきだと思っている。国の動きをきちんと注視して、実現に向けて、国へ要求していきたい。豊山町に許される財源の中で、より年齢の低い児童対象に何かできないかと考え、保育園の副食費の無償化に取り組ませていただいた。



Q 町長はどのような想いで中学生をグラント郡に送り出すのか、何を期待されているのか。

A 中学生たちに直接的な国際交流の機会を提供し、世界の広さを感じ、視野を広げることを目的としている。ホームステイを通じて異なる文化や習慣に触れ、貴重な経験を積むことで、将来の進路や人生に大いに活かされることを期待している。彼らが帰国後、地域社会においてリーダーシップを発揮し、地域の発展に寄与してくれることを願っている。